



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 平成29年9月1日
発行者 校長 末永 寿宣

No. 318 9月号

目に見えない「根」に着目し、子供を育てる

～「たくましい子供を育てる」尾久西小学校の挑戦～

校長 末永 寿宣

2学期がスタート

夏休みが終わり、子供たちの元気な声が校舎内外に響き渡っています。子供たちの元気な姿、明るい笑顔を見ると充実した夏休みであったこと、2学期の学校生活に意欲・期待感を強くもっていることを感じることができます。2学期は、学芸会やマラソン大会等、多くの行事や活動があります。行事を通して、子供たちの育成を図ってまいります。

校庭全面芝生化

さて、本校では、平成17年（2005年）に校庭全面芝生化の工事を竣工し、今年で12年目を迎えました。緑の校庭は見た目にも美しく、砂ほこりが立たず、何よりも子供たちにとって伸び伸び校庭で走り回るには、都合の良い環境です。転んでもすりむくことが少なく、子供たちは芝生の校庭が大好きです。

夏休みの間、校庭全面を養生し、「夏芝」の種をまき根付くのを待っていました。雑草も数多く生息し、芝生の芽は生えそろうていませんが、きっと見えない地面の下で根をはっているでしょう。この間、校庭を使えなかったクラブチームやラジオ体操、学童クラブやにこにこスクール等、ご協力ありがとうございました。

子供の根に着目

子供を育てる際にも、目に見えない根っこに着目します。多くの大人は、目に見える部分にしか注目しません。しかし、子供はそれぞれの環境の中で、今は見えない可能性を育てています。花は咲かず、芽さえ出ない時でも、根は土の中で伸びています。たとえ回り道であっても、歩んだ道には全てに意味があります。私たちは、全ての子供の根に着目し、良き根を養い、育てることに全力を尽くしてまいります。未来ある子供たちの根っこよ力強く育て！と願わずにはいられません。

尾久西小の子供一人一人が、しっかり根をはり、たくましく生き抜く力をつけるために、地域や保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、子供の可能性を伸ばしてまいります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲全面芝生の校庭が本校の特色です。7月30日から8月31日まで全面養生し、「夏芝」の種をまき、育てました。根っこがしっかり育ち、子供たちが伸び伸び遊べる日を待っています。